

「公共建築の日」記念講演会

もっと公共建築を

—公共建築賞審査所懐・公共建築にもっと木を使いたい—

講師 北川原 温 [東京芸術大学教授、北川原温建築都市研究所主宰]



長野県稲荷山養護学校 [Photo Credit 太田 拓美]

2010年11月15日 [月] 14:00～16:00 [13:15受付開始]
静岡県男女共同参画センターあざれあ 6階 大ホール

参加費
無料

公共建築は私たちの生活環境の骨格や土台を形成してゆく役割があるように思います。その時代の象徴となり、その時代の社会や文化の証として歴史を繋ぎとめ未来に伝えてゆく、そして新しい文化を受け入れ、新しい時代を支えてゆく骨格や土台のような建築をいかに上手につくるかが、公共建築に求められていると思います。さらに積極的に未来を示すことも重要な役割でしょう。—中略—さらに大事なことは建築が固有性をもっていることです。建築がその時代の証＝文化となるためには固有性が必要です。単に、その時代の技術や材料、流行の形式を用いるということではなく、独創的な創意、つまりつくり手の確かな創造的意志が働いていないと、ただの産物にしかありません。
[公共建築賞選評より]

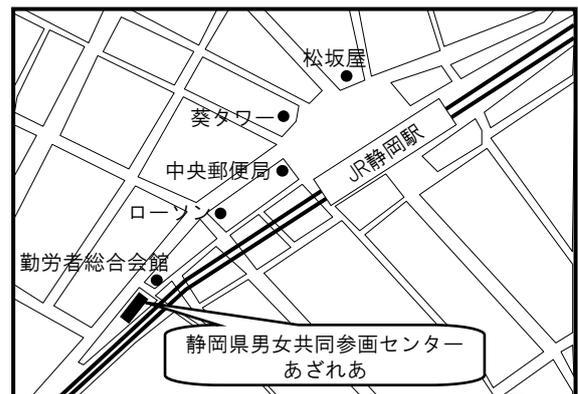
- ◎定員 250名 [先着順]
- ◎主催 静岡県公共建築推進協議会
(社)日本建築学会東海支部静岡支所
- ◎共催 (社)公共建築協会

◎申込方法
講演会名、氏名、勤務先、電話番号を記載し、E-mail又はFAXにてお申込みください。

◎申込期限 2010年11月8日 [月]

◎申込み・問合せ先
静岡県公共建築推進協議会事務局 [静岡県経営管理部営繕企画課内]
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-3374
FAX 054-221-2386
E-mail eizenkikaku@pref.shizuoka.lg.jp

- ◎会場アクセス
- ・JR静岡駅北口を出て徒歩9分
 - ・御来場にあたっては公共交通機関を御利用ください。



北川原 温 [きたがわら あつし]
Atsushi Kitagawara



建築家。1951年長野県生まれ。74年東京芸術大学卒、77年同大学院修了後、国内外で建築修業。82年北川原温建築都市研究所設立。07年ベルリンにヨーロッパ事務所を開設。現在、東京芸術大学教授。都市デザインから建築設計、ランドスケープデザイン、舞台美術、家具・什器のデザインまで幅広く手掛け、多くの作品が世界で紹介されている。これまでに日本建築学会賞作品賞、村野藤吾賞、日本建築大賞、日本図書館協会建築賞などを受賞。2010年日本芸術院賞受賞。また、木造の設計では岐阜県森林文化アカデミー（日本建築学会賞技術賞、公共建築賞特別賞、BCS賞、エコビルド賞、松井源吾賞、アルカシア賞ゴールドメダル、ケネス・ブラウン環太平洋建築文化賞大賞、イタリアIA賞、カナダ・グリーンデザイン賞他受賞）、山梨県木の国サイト情報館（木材利用推進中央協議会 農林水産大臣賞受賞）、最近では長野県産カラマツを活用した長野県稲荷山養護学校、可児市道の駅などがある。2010年は(社)公共建築協会が主催する第12回公共建築賞の審査委員会委員を務めた。